

柏の葉スマートシティ実行計画（柏市）

「公・民・学連携」+「データ駆動」による地域運営を通じ、駅を中心とするスマート・コンパクトシティとして「進化し続けるまち」を目指す。

目標 **世帯別人口、事業所数、住民満足度の増加**

[モビリティ] 公共交通利用者数増加、駅周辺の歩行者量増加 等
 [エネルギー] CO2削減量、電力融通量の増加 等
 [パブリックスペース] 施設回遊度合いの増加、道路維持管理コスト削減 等
 [ウェルネス] 健康数値が改善した人の割合、病院内待ち時間 等
 ※今後、目標数値の設定を検討

取組概要 **TRY the Future – 進化し続けるまち–**

モビリティ
駅を中心とする地域内移動の利便性向上
 • 自動運転バスの導入
 • 駅周辺交通の可視化・モニタリング

エネルギー
脱炭素社会に向けた環境にやさしい暮らし
 • AEMSクラウド化と需要予測の精度向上
 • 太陽光発電の保守管理プラットフォーム

パブリックスペース
人を呼び込み、暮らしを支える都市空間形成
 • AIカメラ・センサーによるモニタリング・データ活用
 • センシングとAI解析による予防保全型維持管理

ウェルネス
あらゆる世代が健康で生き生きと暮らせるまち
 • 個人向け健康サービス（柏の葉パスポート）
 • 病院内の人流把握による患者サービス向上

将来像 **駅を中心とするスマート・コンパクトシティ**

• 駅周辺エリアに集まるデータの収集と活用
 • サイバー空間が支えるコンパクトな生活圏の形成
 • 「公・民・学連携」+「データ駆動」による地域運営
 • 駅を中心とするコンパクトシティのモデル

Energy: AEMSのクラウド化と需要予測の精度向上
 Mobility: 自動運転バスの導入
 Wellness: IoT技術の導入による患者サービスの向上、院内の業務効率向上
 Public Space: AIカメラ・センサー設置とモニタリング、データ活用 (地域全体)

Energy: 太陽光発電設備の保守管理 IoTプラットフォーム
 Wellness: 柏の葉パスポート(仮)を基盤とした個人向けサービス
 Mobility: 駅周辺交通の可視化・モニタリング (市全域)
 Public Space: センシングとAI解析による予防保全型維持管理 (市全域)

体制 **柏市、三井不動産、UDCK、UDCKタウンマネジメントを中心とした体制**

データプラットフォーム	(民間型データプラットフォーム) 三井不動産、凸版印刷、日本ユニシス、日立製作所 (公共型データプラットフォーム) 柏市、日本電気(NEC)
モビリティ	柏市、三井不動産、UDCK、アイ・トランスポート・ラボ、柏ITS推進協議会、首都圏新都市鉄道(TX)、長大、東京大学ETRI・イノベーション連携研究機構、パシフィックコンサルタンツ
エネルギー	三井不動産、UDCK、日建設計グループ、日建設計総合研究所、日立製作所、ヒラソル・エナジー、各施設管理者、住宅管理組合
パブリックスペース	柏市、三井不動産、UDCK、UDCKタウンマネジメント、奥村組、川崎地質、富士交通・道路データサービス、関係機関、カメラ設置会社
ウェルネス	柏市、三井不動産、UDCK、国立がん研究センター東病院、産業技術総合研究所、日立製作所、nemuli、サービサー、東京大学高齢社会総合総合研究機構

スケジュール

2021年度実装

自動運転バス
 駅周辺交通可視化
 AEMS高度化
 AIモニタリング
 柏の葉パスポート

2022年度実装

予防保全型維持管理